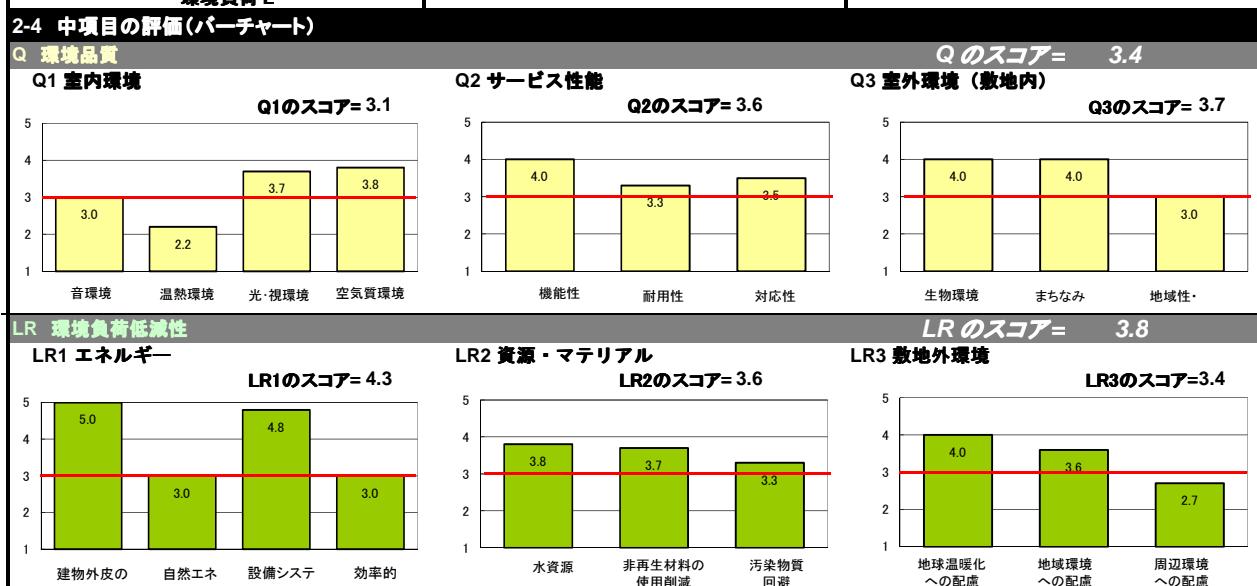
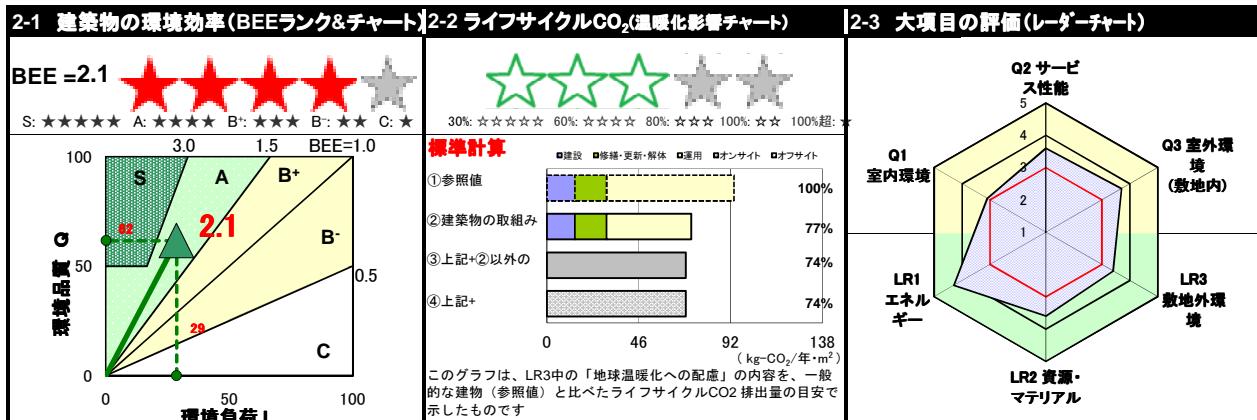


CASBEE-建築(新築) | 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エコリング新本社屋新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県姫路市御国野町御着字下女	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,024時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	4,302 m ²	作成者	谷口 桃子
建築面積	2,458 m ²	確認日	2023年7月3日
延床面積	7,079 m ²	確認者	村井 俊彦



3 設計上の配慮事項		その他	
総合		工業地帯エリア内の丘と見立て、各階バルコニーに木々を配し、周辺に潤いと安らぎを感じられるようデザインした。いぶし銀調のタイルを採用し、姫路城の瓦のようなモチーフの統一感、重厚感、高級感を演出した。	
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内)	
内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用し、全館禁煙することで、空気室環境に配慮している。また、トップライトからの自然光の確保や、照明配置と制御方法により、光環境にも配慮している。		周辺環境が工業地域（倉庫や工場等）のため、オフィス内で働くスタッフのため外構緑化を積極的に行っていく。また、外観パースを作成して景観検証を行うなど、まちなみ配慮している。	
LR1 エネルギー		LR3 敷地外環境	
高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。主要な執務室には、自然光を取り入れながら、少し奥行きのあるテラスと、テラスに縦化を行うことで、日射抑制を兼ねられる計画としている。		燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。また、一般車と搬入車、歩行者の出入口を分離する等の配慮により、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。	
Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地外)	
余裕のある天井高さや自由な働き方を提案するフリーオフィススペースの確保、またスタッフが気分転換に利用できるリフレッシュスペースを設けることで、執務環境の向上に配慮している。		燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。また、一般車と搬入車、歩行者の出入口を分離する等の配慮により、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。	
LR2 資源・マテリアル			
節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、そのほか使用材料を削減することで、省資源に配慮している。			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される